

2012-B					
拠出金・基金の名称:		東南アジア教育大臣機構 (SEAMEO-Japan ESD Award)			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 東南アジア教育大臣機構					
【所管官庁担当局課・室名】: 文部科学省大臣官房国際課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 SEAMEO加盟国内の小・中・高等学校におけるESD※に関する優良な実践例を表彰することで、域内のESDへの取組を促進することを目的としたSEAMEO-Japan ESD Awardの運用資金としてSEAMEOへ拠出している。第1位から第3位までを表彰するとともに、第1位の学校を対象とした日本スタディーツアーを行い、日本のユネスコスクールとの交流を実施する。 拠出金の用途は「審査委員会の実施」、「授賞式の実施」、「受賞校への賞金」、「日本スタディーツアーの実施」に使われる。 ※ESD: 持続可能な開発のための教育。持続可能な社会の担い手を育むための教育であり、国連決議に基づき、ユネスコを主導機関として国際的に取り組まれている。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率 (%)
平成24年度	2,000	25	-	1米ドル = 81円	100
平成23年度	2,000	22	-	1米ドル = 89円	100
平成22年度	-	-	-	-	-
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 我が国にとってSEAMEOは、ASEAN全域との関係を強化できる重要なパートナーであり、成長著しいASEANの人材の育成に我が国が貢献することは大変有意義。2012年度拠出金では第2回「SEAMEO-Japan ESD Award」として第1回の経験等を踏まえ、時期等を改善のうえ実施。同事業は、我が国が推進するESD概念を積極的にSEAMEO加盟国全体へ発信するものであり、また、予算面においても、SEAMEO事務局に拠出することで対一国ではなく加盟国全体に対して事業を実施し影響を及ぼせるものとして、評価できる。					